

# ウミガメが とっっても 困<sup>ごま</sup>っていること、 知<sup>ごま</sup>ってますか？



春から夏、ウミガメのお母さんは

卵<sup>たまご</sup>を産む場所を探<sup>さが</sup>して、

高知県のどこかの浜<sup>はま</sup>辺に上陸<sup>あが</sup>しています。

きれいな浜<sup>はま</sup>辺でないと、

ウミガメは安心<sup>あんしん</sup>して卵<sup>たまご</sup>を産<sup>う</sup>めません。

そして、やっと生まれた

ウミガメの赤ちゃんも、

海に帰ることができないんです。

※平成25年の夏、高知県内の海岸でみられた  
ウミガメの上陸は五百回をこえました。



高知県

# なにげなく捨てた そのゴミが、 海を汚していきます。

海のゴミは、ほとんどが生活ゴミです。

ペットボトルにおかしの袋、空き缶やコンビニの空き袋。

海や浜辺にたどりつくゴミのほとんどは、

私たちが暮らす街から海へとたどりついたものばかり。

ウミガメや魚はそんなゴミをエサと思って食べてしまったり、

ゴミにはさまれて、もがいたりしているんです。

ほんの小さなゴミも、川を流れて海へとたどりつき、

浜辺を少しずつ、少しずつ汚していきます。

なにげなく捨ててしまっているそのゴミがどこへ行くのか、

もう一度考えてみましょう。

ポイ捨てしない。

落ちているゴミを見つけたらゴミ箱に入れる。

そんな小さな取り組みが、

海をきれいにし、ウミガメの命を守ります。



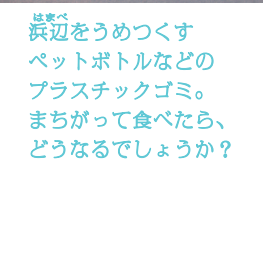
春から夏にかけて、海から浜辺にあがるウミガメ。きれいな浜辺でないと、うまく上陸できません。



ウミガメの赤ちゃんは、生まれてすぐに海に向かって歩きます。小さなごみ一つでも、乗り越えることができないんです。



ウミガメのお母さんの通ったあと。もし見つけてもそっとしておこう。



浜辺をうめつくすペットボトルなどのプラスチックゴミ。まちがって食べたら、どうなるでしょうか？



浜辺に流れ着いて割れたガラスビン。人間でも危ないのだから、動物たちにとってはどんなに危険だろう？



浜辺で夜おそくまで花火をしたり大さわぎするのも、ウミガメをとて不安にさせます。



せっかく産んだ卵のまわりをうめるたくさんのゴミ。ウミガメの赤ちゃんたちは無事に海に帰れるかな？



アミにひっかって身動きが取れないウミガメのお母さん。こうなってしまうと自分の力だけでは絶対にほどこけません。



ゴミにうもれたウミガメの赤ちゃん。海に帰ることができのでしょうか？

写真提供者 溝渕幸三（敬称略）

もっと  
知りたい  
人は・・・

海岸のゴミに関すること：港湾・海岸課（TEL088-823-9883）  
ウミガメに関すること：環境共生課（TEL088-821-4868）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030701/umigame.html>

ウミガメ 高知県

